

ごあいさつ

理事長

しんや たかのり
新屋 貴憲



日頃より、当組合にお寄せいただきますご支援・ご協力に対し、役職員を代表して心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

令和7年度は、「25中期経営計画」初年度として①誠実な営業推進 ②人財・制度改革 ③業務プロセス・システム改革 の3点を旗印にプライド&パッションを持って精力的に取り組み、計画を上回る成果を取りまとめる事が出来ました。貸出金においては、平残ベースで前期比約33億円増と2期連続プラスとなりました。特に、事業資金が対前期比56%増となり、厳しい環境の中で懸命に頑張っておられる地場中小・零細事業者へ必要な資金として供給でき、協同組織としての使命が機動的に発揮され、地域への貢献と深耕活動の推進が図られ、今後の協同組織金融機関としての心強い原動力となりました。

ここに、令和7年3月期の経営概況「りょうしんの現況2026」として取りまとめましたのでご高覧のうえ、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度決算につきましては、有価証券の個別売却処理を複数回実施しましたが、事業計画を上回る当期純利益を計上することができ、引続き安定的な利益を計上することができました。これもひとえに皆様のご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

一昨年より日銀政策金利の引上げが開始し、当組合は金利上昇の影響による有価証券の評価損拡大について有価証券残高の減少や個別売却処理を実施するなどマネジメントを行って参りました。そのような中、決算期末においては、地政学リスクの顕在化、中東情勢の混迷等による国際金融市場の混乱により、有価証券の取引期限を超えた決算期末になって長期金利が急上昇することとなりました。これにより「協同組合による金融事業に関する法律」に定められる当組合の配当可能原資の限度を超える水準に有価証券の評価損額が抵触し、法令により配当金のお支払いが制限されることとなりました。十分な利益を計上し、配当の準備ができている中での無配という結果は、誠に申し訳なく無念でなりません。

なお、現有する有価証券の評価損につきましては、安全性が高い公社公団債が中心であり、満期まで保有していれば償還見込みが高いものがほとんどであります。その他の経営課題につきましては、中期経営計画を上回り目論見通りに順調に進行しております。

どうかご事情ご賢察のうえ何卒、末永いご愛顧をお願い申し上げご挨拶いたします。

令和8年7月

(令和8年7月1日現在)

A photograph of four men sitting side-by-side on a metal-framed bench. They are all dressed in formal business attire, including suits and ties. From left to right: the first man has dark hair and is wearing a dark pinstripe suit; the second man is balding and wearing a grey suit; the third man has dark hair and is wearing a dark blue suit; the fourth man has grey hair and glasses, wearing a dark blue suit. They are all looking towards the camera with neutral expressions. The background is a plain, light-colored wall.

常勤理事 永石 浩 理事長 新屋 貴憲 常務理事 堀 清隆 常勤監事 吉原 富士男

理 事 山崎 龍二(※) 理 事 福田 剛(※) 理 事 石川 章孝(※)
理 事 中山 哲二郎(※) 理 事 上野 栄夫(※) 理 事 関本 士朗(※)
監 事 藤瀬 ひとみ 監 事 藤岡 哲哉

●当組合は、職員出身者以外の理事（※印）の経営参画により、ガバナンスの向上や組合員の意見の多面的な反映に努めています。

(令和8年7月1日現在)

